奥の細道むすびの地「大垣」十六万市民投句

小中学生の部

令和七年五月度　入賞句一覧　投句数　三百五十三句

星野　勝　選

特選

楽しそうおたまじゃくしがおにごっこ　　大垣市　黒﨑　湊（小二）

カエルの卵は、ひものように長い管の中にあって、沼や池の中に産み付けられ、やがておたまじゃくしになります。生まれてすぐはまだ足も手もなくて大きな尻尾で泳ぐ姿が見られます。一度にたくさん生まれて、あちらこちらへ泳ぎまわるようすは、まるで「おにごっこ」をしているかのようです。よく観察して、その特徴をうまくたとえて句に表すことができました。

新品の制服なびく春の風　　加茂郡川辺町　河合　芽依（中一）

作者は中学一年生。新品の制服に袖を通して、颯爽と登校する作者の姿が目に浮かんできます。そんな作者の背中を、「春の風」が後押しして、希望に満ちた中学校生活をスタートしたことでしょう。作者が新たなステージに立ったことが、「新品の制服」という表現から想像できます。そして、そのスタートがきっとうまくいきそうな予感を、「春の風」がもたらしてくれている、そんな句になな

散る桜テスト終わりの僕のよう　　加茂郡川辺町　葛目　都空生（中三）

満開にとなった桜は華やかですが、散り際のはかなさも魅力の一つと言えるでしょう。作者は中三。いよいよ受験の年のスタートです。春休みの課題テストでしょうか。思うような結果が残せなかったことに落胆している姿が浮かんできます。でも、桜はまた一年後に必ず見事な花を咲かせます。来年の春は、きっと満開の桜の下で、新たなスタートに胸を膨らませていることでしょう。健闘を祈り

秀逸

たんぽぽに負けない強さみにつける　　加茂郡川辺町　白石　智己（中一）

満開の桜の下に咲く笑顔　　加茂郡川辺町　土屋　奈々（中三）

梅の花香りがそっと風にのる　　加茂郡川辺町　木下　愛琉（中三）

燕の子いつか旅立つ夢を見る　　加茂郡川辺町　高井　菜々美（中三）

たんぽぽはへんしんするよフカフカだ　　大垣市　大はし　こうめ（小三）

小中学生の部

入選

さくら見に行くとおもい出おもい出す	大垣市	廣瀬　奏空（小二）
春の空みかんのようなまるい月	大垣市	岡本　健太郎（小二）
春の朝心落ちつく鳥の声	加茂郡川辺町	渡邊　瑛汰（中一）
春の朝こぎだす一歩ここちよい	加茂郡川辺町	木下　仁瑚（中一）
シャボン玉走る子供のひたい乗る	加茂郡川辺町	工藤　凱斗（中一）
麗らかに今日もウトウト五時間目	加茂郡川辺町	井戸　奏翔（中一）
からあげのにおいにつられ春祭り	加茂郡川辺町	平岡　郁人（中一）
花粉舞い今年も咳の合唱祭	加茂郡川辺町	河合　優菜（中三）
おはなみでさくらトンネルくぐったよ	大垣市	ささき　りょう（小三）
春キャベツシャキシャキしてるいいおとだ	大垣市	川さき　りおな（小三）

選者吟

自販機にどかと落ちくるトマト三つ　　まさる